



令和8年度4月 泉ヶ丘地域子育て支援センター

温かい日差しに心地よい風。小さな生き物たちは活動を始め、道端や原っぱにはタンポポや小さな草花がかわいい花を咲かせています。春になり、戸外へ出るのが楽しい季節になりましたね。こども達の観察力や好奇心は天才的で、「よく見つけたね」というくらい小さな虫を捕まえたり、雑草を摘んだりちぎったり、また、小石を集めては色や形の違いを面白がったり…。実に色々な遊び方を楽しんでいます。その中でこども達の五感も刺激され、養われ、それぞれの成長に繋がっていきます。

親子でも公園や近所をのんびり散歩しながら色々な春を見つけたり、一緒に自然に触れて遊んでみてはいかがでしょうか？今回はこの季節に見つけられる草花の遊び方を紹介します。

<タンポポ>

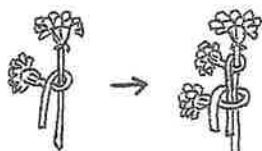
・指輪・腕輪



茎を長めに摘み、二股に裂いて結ぶ



・首飾り・王冠



花を1本ずつ絡み付けて編んでいき、ちょうど良い長さで両端を茎で結ぶ



タンポポの他、シロツメクサやレンゲ等でも出来ます

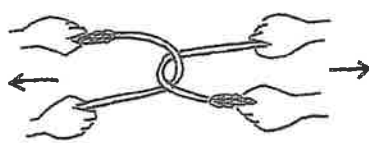
<オオバコ>



オオバコの穂を茎から摘んで、帆を絡めて引っ張り合います

切れずに残った方が勝ちです

(オオバコ以外の茎や葉っぱでも良いです)



<ナスナ (ペンペン草)>



ハート型の葉を切れないようにしたに引き、茎からぶら下がる状態にします

「でんでん太鼓」のように振ると、シャンシャン音が鳴ります



自然と遊びながらも、植木や花壇の花など、摘んだり折ったりしてはいけないものもあるということを伝えていきましょう。



『プレール』とは、フランス語で「つくしんぼ・すぎな」という意味です。春になると地面から顔を出し、暖かい太陽の光と、時には雨風を受けながら成長し、やがては緑を増し、根を張って「すぎな」となっていく「つくしんぼ」。その姿は何となく子育ての願いとの共通点もあるような気がして、この名前をつけました。